

評議会だより

第四七〇回評議会

平成六年九月十三日(火)

(教員選考報告)

総合科学部

助教授 浦 光博 (人間行動研究)

教育学部

講師 山本 雅美 (日本文化学)

理学部

教授 宮村 修 (固体物理学)

助教授 杉立 徹 (固体物理学)

医学部

助教授 栗栖 薫 (脳神経外科)

医学部附属病院

講師 宗重 博 (リハビリテーション部)

歯学部

助教授 佐藤 裕二 (歯科補綴学第二)

歯学部附属病院

講師 占部 秀徳 (第一保存科)

工学部

助教授 棟安 実治 (回路・システム工学)

生物生産学部

教授 谷口 幸三 (畜産科学)

助教授 長沼 毅 (海洋生物生産学)

原爆放射能医学研究所

教授 小松 賢志 (環境生物研究部門)

(報告)

一、平成七年度新規概算要求事項について

文部省から大蔵省への要求分についての報告があった。本年度の大蔵省要求分は二十件。ちなみに昨年度の大蔵省要求分は二十二件。

二、広島大学大学院国際協力研究科長候補者選考内規の制定についての報告があった。

三、医学部とインドネシア国ハサヌディン大学医学部との間で、学術・教育交流に関する協定が締結された旨の報告があった。

四、平成九年度の大学入試センター試験及び個別学力検査の実施教科・科目に関する入学者選抜方法検討委員会の答申について報告があった。本答申に係る事項については、今後各学部で検討を進めることになった。

(議事)

広島大学教務委員会規程の改正等について

広島大学教務委員会規程及び広島大学学生委員会規程等臨時特例の改正が、原案のとおり承認された。また、広島大学教務委員会規程に関する了解事項(昭和四十三年六月十二日評議会の廃止が承認された)。

第四七一回評議会

平成六年十月十一日(火)

(教員選考報告)

総合情報処理センター

助教授 相原 玲二

総合科学部

教授 檜原 修 (日本研究)

教授 渡邊 一雄 (人間行動研究)

教授 於保 幸正 (自然環境研究)

教授 ゴールズベリ、

ピーター・アンソニー (英語)

教授 山田 純 (英語)

助教授 島 唯史 (情報行動基礎研究)

助教授 古島 幹雄 (基礎科学研究)

学校教育学部

教授 黒瀬 基郎 (音楽教育)

教授 船津 守久 (障害児教育)

助教授 木原成一郎 (保健体育)

法学部

教授 山田 園子 (政治)

理学部

助教授 松本 圭司 (関数論)

助教授 森山 芳則 (附属臨海実験所)

講師 小川 知之 (応用解析学)

医学部

助教授 宮崎 哲次 (法医学)

歯学部附属病院

講師 津賀 一弘 (第一補綴科)

工学部

教授 高萩 隆行 (電子物性工学)

教授 吉田 英人 (化学工学)

教授 迫原 修治 (化学工学)

助教授 上田 正仁 (電子物性工学)

助教授 島田 学 (化学工学)

(報告)

一、生物生産学部長逝去に伴う事務取扱について  
畑中千歳学部長の逝去に伴い、岡田育穂評議員を事務取扱とした旨の報告があった。

二、広島大学大学計画委員会委員の追加について  
経済学部の上田良文教授を新たに委員に追加した旨の報告があった。

三、歯学部と連合王国ニューカッスル・アポン・タイン大学歯学部との間で、学術交流に関する協定を締結した旨の報告があった。

#第一回広島大学同窓会連合大会開催

統合移転完了を機に、各学部等の同窓会と大学とが一体となり、全学の同窓会連合の結成と統合移転完了記念事業の支援を目指す。  
広島大学誕生以来初めての「第一回広島大学同窓会連合大会」は、来たる十二月二日(金)に「リーガロイヤルホテル広島」で開催することになった。その実務は広島大学体育会同窓会及び体育会が主管する。これまでの本学の卒業生は、七万六千人にのぼる。

#大学改革の調査が始まる

文部省は、国立大学九十五校に対し、カリキュラム改革、自己点検・評価などの二十一のチェック項目からなる初の大学改革実態調査を始めた。調査結果は点数化し、開かれた大学に向けて努力を惜しまない大学に予算(大学改革推進等経費、総額三十億円)を重点配分するという。  
なお、従来の教育設備特別整備費及び教育方

法改善経費は廃止される予定。

#財団または基金の設立へ向けて動き出す

学術振興事業、国際交流事業、地域交流事業等を行うために、財団または基金を設けている大学は多い。例えば、中国地区では、岡山大学、山口大学、島根大学、鳥取大学にすでにこのような財団または基金がある。  
そこで、本学でも、財団または基金の設立について検討することになった。

#平成六年度教育研究学内特別経費について

教育研究学内特別経費いわゆる学長科研については、国立大学学長会議等で各大学の実情に応じた弾力的な運用が提言されていることなどから、本年度の配分方針について、学長から説明があった。  
それによると、研究経費については、従来的一般研究分以外に、特定研究分として、西条キャンパスにおける環境保護、特にががら山の自然再生に関する研究と、太陽エネルギーの利用などの省エネに関する研究テーマに、また、研究経費以外の経費としては、情報処理教育に係る設備費、シラバスの実現に向けての準備経費、緑化経費などに配分したい、ということであった。

#東千田本部跡地で全国都市緑化フェアを計画

広島市は、被爆五十周年記念事業の一つとして、平成九年に第十四回全国都市緑化フェアを東千田キャンパス(本部跡地)で開催することを計画。広島市長からの協力要請に対し、本学はできる限り協力することになった。

#リカレント学習コースの授業開始

十月より、平成六年度リカレント学習コースの授業が、地方公共団体、地域の高等教育機関、産業界などの連携・協力のもとに、本学旧教育学部、鈴峯女子短期大学、広島工業大学専門学校、安田女子大学で開始された。